地域運営学校
令和7年度
学校だより
鑓水
令和7年8月27日
8・9月号
八王子市立鑓水中学校

おみやげ

校長　山川　毅

夏休み中、大きな事故・事件等に巻き込まれたという報告はなく、本日始業式で元気な姿の生徒たちと再会できたことを何より嬉しく感じております。2学期が始まりました。2学期は、宿泊行事、合唱コンクール、職場体験等の大きな行事が控えております。本校の宿泊行事は1学年が栃木県大田原市での移動教室（農村生活体験）、3学年が京都・奈良での修学旅行です。この2つの行事は、教育課程上「総合的な学習の時間」および「特別活動（学校行事）」に位置付けています。学習指導要領特別活動編によると、宿泊行事は「平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積む」とある通り、貴重な学びがあると捉えております。

さて、少々堅苦しい書き出しとなりましたが、ここからは私見を書かせて頂きます。私は、教員時代を含めて、多くの宿泊行事の引率を経験してきましたが、毎回心が和む場面があります。「お土産タイム」です。ちなみに、我が家には成人した娘と息子がおりますが、息子は高校受験で第一志望の都立高校を見事に外し、第二志望の私立高校にお世話になりました。当時は補助金制度もなく、我が家の家計は大打撃でした（ちなみに私の小遣いは減額されました）。更に恐ろしいことに、修学旅行は海外・・・。仕方なく親の務めと割り切り、渋々行かせてやりました。そんな息子ですが、何と母親と娘の土産にコスメ（化粧品）を買ってきたのです。思春期真っ盛りで常に仏頂面で、話しかけても「別に・・・」の連発、一緒に食事をすると息が詰まる愚息が、免税店の女性の化粧品売り場であれこれと歩き回り、母親と姉の化粧品を選んでいる姿を想像すると、おかしくてたまりませんでした。同時になぜか微笑ましくも思え、心が温かくなったことを記憶しております。

話を中学生に戻します。皆様のお子様たちも、思春期真っ只中で、普段はろくすっぽ親と話をしなかったり、顔を合わせれば兄弟げんかばかりしたりしているのではないでしょうか。そんなお子様たちですが、宿泊行事等の「お土産タイム」では、自分の親、兄弟、祖父母一人ひとりの顔を思い浮かべながら、品物を選定します。限られた（決められた）金額で、頭の中で計算しながら真剣な顔つきで土産を選んでいる姿。たった３日間ですが、日々当たり前のように一緒に過ごしている家族と離れることによって、普段は感じられない、家族の温かさ、優しさ、有難さに気付き、その感謝の気持ちをお土産に託す。私にはとても素敵な瞬間に思えます。ここにも宿泊行事の大きな意義があるとさえ思います。

1学年の移動教室は、９／１（月）～３（水）、3学年の修学旅行は１０／１４（火）～１６（木）に予定されております。1学年の移動教室は、各宿からお土産を頂けるとのことで、残念ながら「お土産タイム」は設けませんが、ぜひたくさんの「土産話」に耳を傾けてください。両学年共、1学期から事前学習を積み重ねて準備してきました。本番、有意義で実りある体験学習になることを期待しております。

カジュアルウィーク

身の回りの課題に気付き、当事者意識をもって行動する力の育成

7 月 16 日～23 日まで、カジュアルウィークを実施しました。TPO をわきまえた身だしなみへの意識を高めることが目的です。生徒からは「自分でどの服装が学習に適しているかを考えることが嬉しかった。」「カジュアルウィークによって標準服の意味が分かりました。」等の意見がありました。

2 学期以降の実施も検討していきます。

赤ちゃんふれあい事業　２年生

いのちの温かさを再確認

妊娠・出産に関する知識を学び、赤ちゃんやその家族とふれあう体験を通じていのちの温かさを再確認するという目的で 2 年生が赤ちゃんふれあい事業を実施しました。助産師による妊娠・出産の説明の後、赤ちゃんを抱っこしたり、妊婦体験をしたりしました。　妊婦体験をした生徒は「お腹が大きいので下の物がとりにくかった。妊婦さんの大変さが分かった。」と話していました。

美術「協奏タイルプロジェクト」@大阪関西万博

鑓中 2020 レガシー　ボランティアマインドの育成

昨年度、美術で取り組んだ「協奏タイルプロジェクト」の作品が大阪関西万博のパビリオン「くらげ館」の「よろこびの壁」になりました。「協奏タイルプロジェクト」とは、「いのち高まる」をテーマに、日本全国の子どもや障がいのある方々等が「いのち」への思いを込めてモザイクタイルで表現したものです。鑓水中学校では、昨年度、すべての学年で取り組み、代表作品約 30 枚が「よろこびの壁」になりました。鑓中生の作品が「鑓水」を飛び出して、世界へ「いのち輝く未来社会のデザイン」を発信する場を作ることができました。

評価評定質問教室

学力向上の取組

今学期の学びを担当教員とともに振り返ることで、今後の学びをブラッシュアップしてもらうためのものです。今回も予定の時間を大幅に過ぎるほどたくさんの生徒が質問に来ました。参加した生徒は「先生に聞いたことを気を付けて学習したい。」と話していました。

やりみずガーデンサポーター説明会

鑓中 2020 レガシー　ボランティアマインドの育成

「やりみずガーデンサポーター」の説明会を行いました。「やりみずガーデンサポーター」とは、年間を通して花壇の水やり等をおこなうボランティアです。今年度は 40 名を超える生徒が応募してくれました。

不登校の子どもたちを支援する学校等の説明会

八王子市には、「高尾山学園」をはじめ、不登校の子どもたちを支援する学校等がいくつかあります。指導内容やスタッフ、申込みのシステム等にそれぞれ特色があります。

そこで、お子さんの状態や必要性に応じてご利用いただくために説明会を開催致します。どうぞお気軽にご参加ください。

1．対　象　　市内在住で小・中学生の保護者

2．日　時　　10月４日（土）　午前10時から正午

3．会　場　　八王子市教育センター　大会議室

4．内　容　　(1) 高尾山学園・適応指導教室・総合教育相談室の概要説明
(2) 教育センター内見学
(3) 各施設の利用に関する相談

5．定　員　　100名(先着順)

6．受付開始日　令和７年 ９月15日（月）
こちらの２次元コードからお申し込みください。インターネット環境がない場合は電話による申し込みも可能です。下記の電話へご連絡ください。
https://logoform.jp/form/iapr/1129079

7．問合せ・電話での申し込み
高尾山学園内　教育指導課登校支援担当電話：６６３－３２１６

教職員の退職についてのお知らせ

育児休業中の美術科　野々部　美樹教諭におきましては、令和７年７月31日付で一身上の都合により退職することになりました。後任は　臨時的任用教員として田口　貴洋教諭が令和８年３月31日まで務めます。生徒の皆さんをはじめ保護者の皆様に御迷惑と御心配をおかけしますが、御理解・御了承をお願いいたします。